

令和2年第1回定例会

治安状況

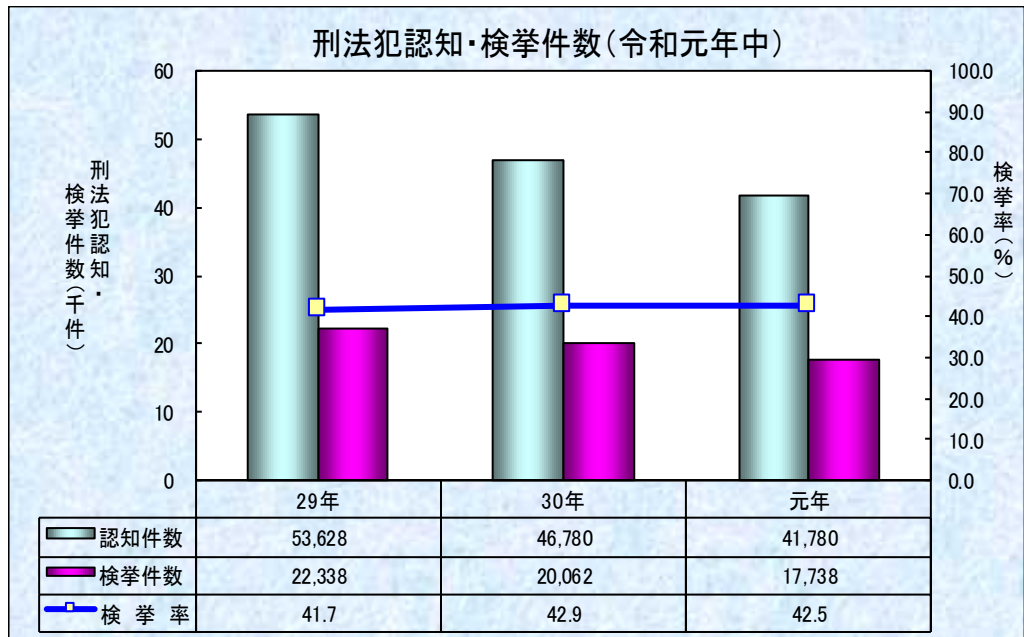


神奈川県警察本部

共通項目

○ 県内の犯罪情勢

- ・ 刑法犯認知件数 4万1,780件（前年比 -5,000件）
- ・ 刑法犯検挙件数 1万7,738件（前年比 -2,324件）
- ・ 刑法犯検挙率 42.5%（前年比 -0.4pt）



生活安全部
関 係

1 犯罪の起きにくい社会の実現に向けた諸対策の推進

(1) 特殊詐欺被害防止対策の推進

- ・ 関係機関・団体と連携した広報啓発活動の推進
- ・ 迷惑電話防止機能を有する機器の普及促進

(2) 県民の身近なところで発生し、不安を与える犯罪の抑止対策の推進

- ・ 発生実態に即した総合的な犯罪抑止対策の推進

(3) 子供の犯罪被害防止対策の推進

- ・ 通学路等に対する警戒の強化
- ・ 防犯ボランティア団体等と連携した見守り活動の実施

(4) 防犯カメラ設置促進に向けた取組の推進

- ・ 県等が行っている防犯カメラ補助金制度の自治会等への周知
- ・ 効果的な設置方法のアドバイス等の支援の実施

(5) 自主防犯活動の活性化に向けた取組の推進

- ・ 防犯ボランティア団体等に対する犯罪情報や防犯知識の提供
- ・ 防犯ボランティア人材の裾野の拡大

(6) 繁華街・歓楽街の安全安心の確保に向けた総合対策の推進

- ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、国内外から多数の来訪者が集まる繁華街・歓楽街の健全化を図るための風俗事犯等に対する指導・取締りの強化
- ・ 関係機関と連携した合同査察の推進による繁華街・歓楽街の安全安心の確保

2 人身安全関連事案への対応状況（令和元年中）

(1) ストーカー事案

相談等件数	882件	(前年比	-122件)
検挙件数	26件	(前年比	-38件)
警告	54件	(前年比	+2件)
禁止命令	30件	(前年比	-10件)
緊急禁止命令	17件	(前年比	+3件)

(2) 配偶者暴力事案

相談等件数	7,658件	(前年比	+579件)
検挙件数	197件	(前年比	-15件)

(3) 児童虐待事案

通告人員	1万1,119人	(前年比	+2,584人)
検挙件数	40件	(前年比	+4件)

3 少年非行防止及び保護総合対策の推進（令和元年中）

(1) 非行少年の検挙・補導状況

検挙・補導人員 1,953人(前年比 -399人)

【主な特徴】

- ・ 少年の検挙・補導のうち、最も多いのは、窃盗（万引き）

(2) 非行少年を生まない社会づくりの推進

- ・ 学校等の関係機関や少年警察ボランティア等と連携した少年の規範意識の醸成
- ・ 問題を抱える少年等への継続的な助言・指導等による立ち直り支援活動の推進

4 各種犯罪の検挙状況（令和元年中）

(1) 福祉犯罪の検挙状況

検挙件数	793件	(前年比	+7件)
検挙人員	706人	(前年比	-17人)

【主な特徴】

- ・ 児童ポルノ法違反の検挙が増加
- ・ 児童買春の検挙が減少

(2) 生活経済事犯の検挙状況

検挙件数	945件	(前年比	-119件)
検挙人員	609人	(前年比	-117人)

【主な特徴】

- ・ ヤミ金融事犯の検挙が増加
- ・ 環境事犯の検挙が減少

(3) サイバー犯罪の検挙状況

検挙件数	1,207件	(前年比	-71件)
------	--------	------	-------

【主な特徴】

- ・ 不正アクセス禁止法違反の検挙が増加
- ・ 不正指令電磁的記録に関する罪の検挙が減少

刑 事 部 係
関

1 重要犯罪等の認知及び検挙状況（令和元年中）

(1) 重要犯罪の認知及び検挙状況

【重要犯罪】

殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつ

認知件数 582件（前年比 -172件）

検挙件数 534件（前年比 -104件）

検挙人員 418人（前年比 +13人）

検 挙 率 91.8%（前年比 +7.2pt）

【主な特徴】

- ・ 重要犯罪は、認知件数、検挙件数が減少、検挙率が上昇
- ・ 罪種別では、強盗の認知・検挙件数が減少、検挙率も下降、強制性交等の認知・検挙件数がほぼ横ばいである一方、強制わいせつの認知・検挙件数が大幅に減少、検挙率が上昇

(2) 重要窃盗犯の認知及び検挙状況

【重要窃盗犯】

侵入盗（空き巣、金庫破り、事務所荒し、出店荒し、忍込み等）、
自動車盗、ひったくり及びすり

認知件数 4,067件（前年比 -276件）

検挙件数 2,521件（前年比 -555件）

検挙人員 317人（前年比 -45人）

検 挙 率 62.0%（前年比 -8.8pt）

【主な特徴】

- ・ 認知件数では、空き巣、金庫破り、事務所荒し、出店荒し及び自動車盗が減少、忍込みが増加
- ・ 検挙件数では、空き巣、ひったくりが増加、忍込み、金庫破り、事務所荒し、出店荒し及び自動車盗が減少
- ・ 検挙人員では、金庫破り及び自動車盗が増加、空き巣、忍込み、事務所荒し、出店荒し及びひったくりが減少

(3) 特殊詐欺事件の認知及び検挙状況

認知件数 2,790件（前年比 +16件）

被害総額 約50億7,200万円（前年比 -約10億4,400万円）

検挙件数 509件（前年比 -18件）

検挙人員 179人（前年比 -30人）

検 挙 率 18.2%（前年比 -0.8pt）

【主な特徴】

- ・ 類型別で、オレオレ詐欺が認知件数全体の約52%
- ・ キャッシュカード窃取型の認知件数が全体の約28%

2 組織犯罪の検挙状況等（令和元年中）

(1) 暴力団犯罪の検挙、行政命令の発出及び暴力団排除条例の適用状況

暴力団犯罪 検挙件数 1,559件（前年比 -180件）

検挙人員 531人（前年比 -197人）

行政命令 中止命令 100件（前年比 +21件）

再発防止命令 2件（前年比 ±0件）

暴排条例 勸 告 9件（前年比 +3件）

中止命令 0件（前年比 -1件）

事件検挙 1件（前年比 -1件）

【主な特徴】

- ・ 検挙人員のうち、稲川会が占める割合は約64%、六代目山口組、神戸山口組及び任侠山口組（現：絆会）が占める割合は約15%

【検挙事例】

- ・ 稲川会傘下幹部らによる偽造有印公文書行使等事件
- ・ 稲川会傘下幹部らによる恐喝未遂事件
- ・ 歯科医師及び浅野組共生者らによる診療報酬詐欺事件

(2) 薬物犯罪の検挙状況

検挙件数 1,352件（前年比 -330件）

検挙人員 934人（前年比 -170人）

【主な特徴】

- ・ 検挙人員のうち、覚醒剤事犯が占める割合は約47.9%、大麻事犯が占める割合は約46.2%であり、大麻事犯については増加傾向にある。

【押収量の内訳】

覚 醒 剤 2万1,209.15 g（前年比 -19万6,473.34 g）

乾燥大麻 2万5,400.14 g（前年比 +1万6,892.18 g）

大 麻 草 926本（前年比 +731本）

【検挙事例】

- ・ 暴力団幹部らによる覚醒剤密売事件
- ・ 非公用軍事郵便利用米国来大麻密輸入事件
- ・ 湘南地区における組織的大麻栽培事件

(3) 銃器犯罪の検挙状況

検挙件数 17件（前年比 -3件）

検挙人員 15人（前年比 -8人）

拳銃押収 19丁（前年比 -8丁）

(4) 外国人犯罪の検挙状況

検挙件数 1,818件（前年比 +182件）

検挙人員 1,163人（前年比 -30人）

【主な特徴】

- ・ 検挙人員の割合は、中国人が約35.2%、ベトナム人が約17.5%、韓国人が約10.9%となっており、主な罪種は入管法、窃盗、粗暴犯等である。

【検挙事例】

- ・ 中国人不法就労あっせんブローカーらによる入管法違反事件
- ・ ベトナム人による転売を目的とした組織窃盗（万引き）事件
- ・ ポリビア人らによる出産育児一時金不正受給詐欺事件

(5) 犯罪インフラ撲滅に向けた取組

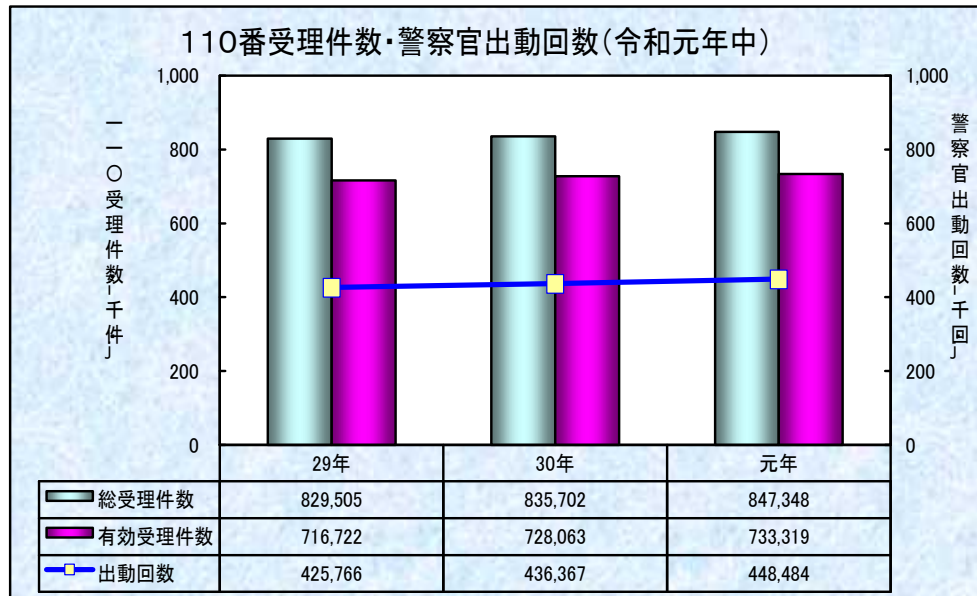
- ・ 「犯罪インフラ事犯の検挙」、「実態解明」、関係機関・関係事業者等と連携した「犯罪インフラを生まないための環境づくり」等を推進
- ・ 令和元年5月24日に「第8回神奈川県生活保護不正受給等防止対策連絡会」を開催し、各自治体との連携を強化
- ・ 令和元年12月18日に「第4回空き部屋対策推進連絡会」を開催し、不動産関連事業者、配送事業者、通信販売事業者、IT関連事業者等との連携を強化

地域関係

1 110番の受理状況

総受理件数 84万7,348件（前年比+1万1,646件）

- ・ 1日平均の総受理件数は、2,322件（前年比+32件）
- ・ 37.2秒に1件の割合で入電
- ・ リスポンスタイムは、平均10分46秒



※有効受理件数 73万3,319件（+5,256件）

2 緊急配備の実施状況

発令件数 261件（前年比 -64件）

検挙件数 120件（前年比 -27件）

検挙率 46.0%（前年比 +0.8pt）

【検挙事例】

- ・ 横浜市内において交番勤務員が路上強盗事件犯人を検挙
- ・ 県央地区において本部パトカーがコンビニ強盗未遂事件犯人を検挙

3 地域警察官の活動状況

(1) 刑法犯の検挙状況

検挙件数 8,978件（前年比-1,593件）

検挙人員 8,959人（前年比-1,721人）

(2) 特別法犯の検挙状況

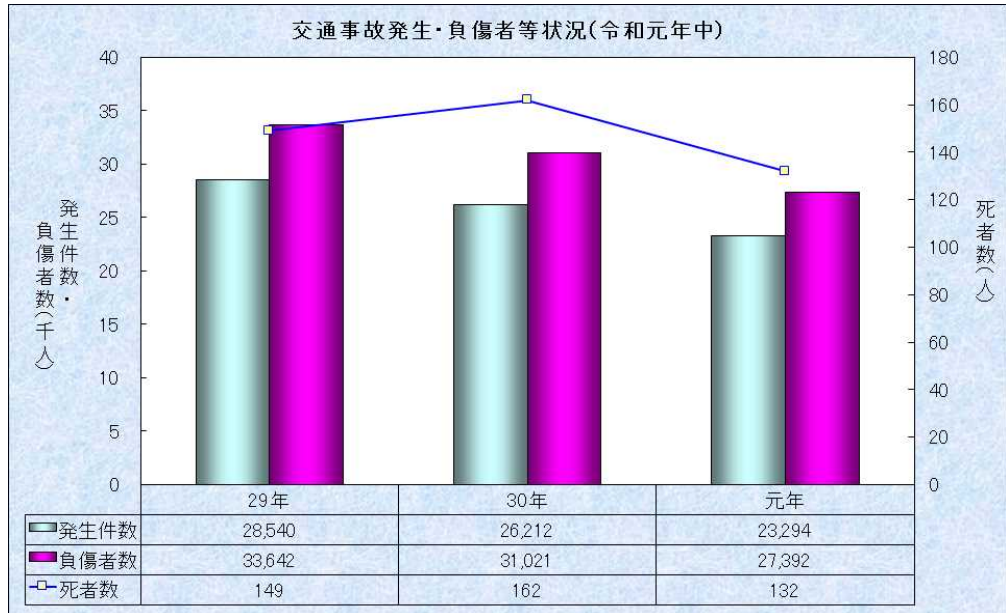
検挙件数 2,752件（前年比 -679件）

検挙人員 2,661人（前年比 -739人）

1 交通事故の発生状況

(1) 人身交通事故の発生状況

発生件数 2万3,294件(前年比-2,918件)
 負傷者数 2万7,392人(前年比-3,629人)
 死者数 132人(前年比 -30人)



(2) 平成31年交通死亡事故抑止総合対策

交通事故死者の減少を目指し、4つの対策を強化

- ・ 高齢者と子供の事故防止対策
- ・ 二輪車事故防止対策
- ・ 自転車事故防止対策
- ・ 横断歩行者保護対策

2 重大事故事件の検挙状況

(1) 死亡ひき逃げ事件の検挙状況

発生件数 3件(前年比-5件)
 検挙件数 3件(前年比-5件)

(2) 危険運転致死傷罪の適用状況

適用件数 37件(前年比+3件)

3 暴走族対策

(1) 暴走族等の現状と検挙状況(旧車會を含む。)

ア 現状

暴走族数 18グループ、619人
 旧車會数 63グループ、506人

イ 検挙状況

道路交通法違反等の検挙人員 723人(前年比-7人)
 (うち、共同危険行為等禁止違反者 57人(前年比-25人))

(2) 暴走族加入防止教室の開催状況

- ・ 学校を活用した暴走族加入防止教室等を192回開催
- ・ 中高校生等4万7,624人が受講

	<p>4 運転免許関係</p> <p>(1) 運転免許保有状況 運転免許保有者数 564万191人（前年比+272人）</p> <p>(2) 行政処分等 運転免許の行政処分 1万8,056件（前年比-1,717件） 行政処分のうち取消処分 1,803件（前年比-323件） 認知機能検査の結果による取消し処分件数 134件（前年比-50件）</p> <p>(3) 自主返納状況 自主返納件数 4万6,170件（暫定値）</p>
<p>警 備 部 係 関</p>	<p>1 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた警備諸対策の推進</p> <p>(1) 令和元年中の大規模警備実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皇室関連行事 ・ G20大阪サミット ・ トランプ・アメリカ合衆国大統領夫妻の来県 ・ 第7回アフリカ開発会議 ・ ラグビーワールドカップ2019 <p>(2) 官民一体となったテロ対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重要施設、ライフライン等に対する警戒警備 ・ 関係機関との連携による水際対策 ・ 爆発物原料対策 ・ サイバー攻撃対策 <p>2 大規模災害に対する警備諸対策の強化</p> <p>(1) 台風第19号による災害に係る警察措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害警備本部の設置と各種事案への対処 <p>(2) 災害対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害対処能力の向上 ・ 防災関係機関との連携の強化 <p>3 警衛・警護警備</p> <p>(1) 警衛 天皇皇后両陛下の「地球科学・リモートセンシング国際シンポジウム2019開会式」御臨席に伴う警衛警備等、133件の警衛警備を実施</p> <p>(2) 警護 「第25回参議院議員通常選挙」、「第7回アフリカ開発会議」、「ラグビーワールドカップ2019」に伴う警護警備等、696件の警護警備を実施</p>
<p>サイバーセキュリティ 対 策 本 部 係 関</p>	<p>1 サイバーセキュリティに係る人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サイバー犯罪捜査実戦塾及びサイバー犯罪等対処能力検定の実施 ・ IT関連企業等における研修の受講などによる捜査員の対処能力の向上 <p>2 広報・啓発活動等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談電話「サイバーセキュリティホットライン」の設置 ・ 中小企業を対象としたサイバーセキュリティセミナー等の開催 ・ サイバーセキュリティステーションの設置